

福島県の高校生の先進的な社会活動と課題解決学習

2016年1月23日 REASE 公開講座

福島の高校生が日本を元気にする 2

ふくしま学びのネットワーク事務局長・東京大学特任研究員

前川直哉

1. 福島県の現状

- 1) 継続的な除染と半減期経過により、県内の大部分で放射線量は低くなった。
- 2) 高線量の地域や旧警戒区域の一部は、今も立ち入り制限または居住制限中。
- 3) 日本唯一のコメ全量全袋検査など、食品の検査体制を整えているが、売り上げは減少。
- 4) 地震・津波・原発災害・風評被害という四重の苦難の中、多くの大人たちが前向きに自分にできることを精いっぱい頑張っている。

2. いま、福島で学ぶ意義

- 1) 世界最先端の「知」が集まる場所
- 2) カッコいい大人が集まる場所
- 3) 割り切れないことを、割り切れないままに考え続けることが必要な場所
- 4) 若者が活躍できる場所

3. 社会活動コンテスト

- ・2015年10月18日、福島テルサにて開催。
結果は次ページの通り。

【2015 ふくしま高校生社会活動コンテスト 結果】

★最優秀賞

平養護学校高等部 生徒会 ボランティア部（福島県立平養護学校高等部）

「笑顔輝く！僕らの平養護学校」プロジェクト

★東京大学 REASE 賞（優秀賞）

福島高校 SS 部 放射線班（福島県立福島高等学校）

「福島県内外の高校生個人線量調査」

★ふくしま学びのネットワーク賞（優秀賞）

平工業高等学校 生徒会（福島県立平工業高等学校）

「すべては喜んでくれる人たちの笑顔のために」

★審査員賞 ※50 音順

高校生が伝える福島食べる通信（学校の枠を超えたグループ）

「高校生が伝える福島食べる通信」

サムライフス実行委員会（学校の枠を超えたグループ）

「サムライフス実行委員会」

SEIBO インターアクト（桜の聖母学院高等学校）

「SEIBO インターアクト」

平養護学校高等部 生徒会 ボランティア部（福島県立平養護学校高等部）

「笑顔輝く！僕らの平養護学校」プロジェクト

福島高校 福島復興プロジェクト 土湯魅力創造班（福島県立福島高等学校）

「福島復興プロジェクト 土湯魅力創造」

【審査員】 ※敬称略

審査委員長：松井彰彦（東京大学大学院経済学研究科 教授）

審査員（五十音順）：

鎌田千瑛美（NPO 法人蓮笑庵くらしの学校事務局長、コミュニティコーディネーター）

今野順夫（福島大学名誉教授、コープふくしま理事長）

番場さち子（ベテランママの会代表）

矢部寛明（NPO 法人底上げ代表理事、アショカジャパンユースベンチャー・プログラムリーダー）

主催 一般社団法人 ふくしま学びのネットワーク

東京大学 REASE（研究代表者：東京大学大学院経済学研究科 教授・松井彰彦）

後援 福島県教育委員会

協賛 認定NPO法人福島100年構想委員会、福島復興プロジェクトチーム「花に願いを」